

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2016-190678

(P2016-190678A)

(43) 公開日 平成28年11月10日(2016.11.10)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 83/08 (2006.01)	B 6 5 D 83/08	F 3 E 0 1 4
B 6 5 D 30/10 (2006.01)	B 6 5 D 30/10	T 3 E 0 6 4
B 6 5 D 33/00 (2006.01)	B 6 5 D 33/00	A
B 6 5 D 33/08 (2006.01)	B 6 5 D 33/08	
B 6 5 D 33/10 (2006.01)	B 6 5 D 33/10	

審査請求 未請求 請求項の数 17 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号	特願2015-116290 (P2015-116290)	(71) 出願人	591052941 コスモケミカル株式会社 大阪府八尾市八尾木北4丁目9番地
(22) 出願日	平成27年6月9日(2015.6.9)	(74) 代理人	100111257 弁理士 宮崎 栄二
(31) 優先権主張番号	特願2015-45736 (P2015-45736)	(74) 代理人	100110504 弁理士 原田 智裕
(32) 優先日	平成27年3月9日(2015.3.9)	(72) 発明者	大脳 建治 大阪府八尾市八尾木北4丁目9番地 コス モケミカル株式会社内
(33) 優先権主張国	日本国(JP)	(72) 発明者	今井 俊行 大阪府八尾市八尾木北4丁目9番地 コス モケミカル株式会社内
(31) 優先権主張番号	特願2015-94022 (P2015-94022)	F ターム (参考)	3E014 MA02 3E064 AA01 BA25 BA26 BA30 EA12 HA06 HB03 HJ02
(32) 優先日	平成27年5月1日(2015.5.1)		
(33) 優先権主張国	日本国(JP)		

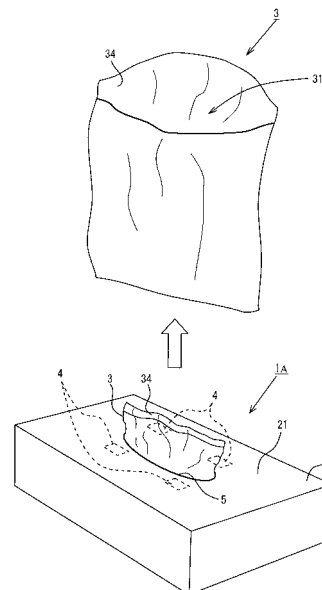
(54) 【発明の名称】 ビニール袋収納箱及びビニール袋収納箱用のビニール袋

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 箱体の取出し口から取り出す度にビニール袋の開口部を開口させるといった煩わしい手間を省くことができるビニール袋収納箱及びビニール袋を提供する。

【解決手段】 ビニール袋収納箱1Aは、箱体2の内部には交互に折り畳まれて積層された四角形のビニール袋3が収納され、箱体2の上面部21には箱体内部のビニール袋3を1枚ずつ取り出す取出し口5が開口形成されている。ビニール袋3は、一辺を上部の開口部31として形成するように重なり合う一方及び他方のシート体により構成され、一方のシート体の開口部31を形成する上部にはビニール袋3が取出し口5から引っ張り出されるときに摘まれるように他方のシート体と重なり合わずに露出する摘み代34が設けられている。箱体上面部21の内面側には取出し口5から引っ張り出されるビニール袋3と接して摺動抵抗を付与する抵抗体4が設けられている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

箱体の内部には開口部側を上にして交互に折り畳まれて積層された四角形のビニール袋が収納され、箱体の上面部には箱体内部のビニール袋を 1 枚ずつ取り出せるようにする取出し口が開口形成されるビニール袋収納箱において、

ビニール袋は、一辺を上部の開口部として形成するように重なり合う一方及び他方のシート体により構成され、一方のシート体の開口部を形成する上部には、該ビニール袋が取出し口から引っ張り出されるときに摘まれるように、他方のシート体と重なり合わずに露出する摘み代が設けられ、

箱体上面部の内面側には、取出し口から引っ張り出されるビニール袋と接して摺動抵抗を付与する抵抗体が設けられているビニール袋収納箱。

10

【請求項 2】

請求項 1 に記載のビニール袋収納箱において、

抵抗体は、横長の取出し口における両長辺の近傍に配設されているビニール袋収納箱。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のビニール袋収納箱において、

抵抗体は、横長の取出し口における両長辺の長さ方向の両端部側に配設され、中央部付近に配設されないビニール袋収納箱。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のビニール袋収納箱において、

横長の取出し口には、両長辺から対向長辺に向けて突出して交互に隣接させて引っ張り出されるビニール袋を挟み込むフラップ部が設けられ、

抵抗体がフラップ部の裏面に設けられているビニール袋収納箱。

20

【請求項 5】

請求項 4 に記載のビニール袋収納箱において、

抵抗体は、フラップ部の先端部側に寄せて設けられているビニール袋収納箱。

【請求項 6】

請求項 4 又は 5 に記載のビニール袋収納箱において、

フラップ部は、取出し口の対向長辺の位置まで延びるか、取出し口の対向長辺の手前まで延びるか、又は取出し口の対向長辺を越えて延びるように形成されているビニール袋収納箱。

30

【請求項 7】

請求項 4～6 のいずれか 1 項に記載のビニール袋収納箱において、

フラップ部は、横長の取出し口における両長辺の長さ方向の両端部側に配設され、中央部付近に配設されないビニール袋収納箱。

【請求項 8】

請求項 4～7 のいずれか 1 項に記載のビニール袋収納箱において、

フラップ部は、箱体上面部の構成部材とは別部材にて構成され、突出部と基端部とを有し、基端部を箱体上面部の内面に取り付け、突出部を取出し口内に配置させているビニール袋収納箱。

40

【請求項 9】

箱体の内部には開口部側を上にして交互に折り畳まれて積層された四角形のビニール袋が収納され、箱体の上面部には箱体内部のビニール袋を 1 枚ずつ取り出せるようにする取出し口が開口形成されるビニール袋収納箱において、

ビニール袋は、一辺を上部の開口部として形成するように重なり合う一方及び他方のシート体により構成され、一方のシート体の開口部を形成する上部には、該ビニール袋が取出し口から引っ張り出されるときに摘まれるように、他方のシート体と重なり合わずに露出する摘み代が設けられ、

積層状態のビニール袋は、支持板上に載置され、折り畳んだビニール袋の折り線と平行に積層状態のビニール袋の両側位置にて支持板とともにゴムバンドが嵌め込まれた状態で

50

箱体の内部に収納され、

取出し口から引っ張り出されるビニール袋と接して摺動抵抗を付与する抵抗体が設けられ、

上記抵抗体は、上記ゴムバンドのビニール袋架け渡し部分自体及び／又は上記ゴムバンドのビニール袋架け渡し部分に設けた抵抗素材により構成されるビニール袋収納箱。

【請求項 10】

請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載のビニール袋収納箱において、

ビニール袋は、取出し口から引っ張り出されるときに摘み代を設けていない他方のシート体が抵抗体と接触するように、他方のシート体を外側にして折り畳まれて積層されているビニール袋収納箱。

10

【請求項 11】

箱体の内部には開口部側を上にして折り畳まれて積層された四角形のビニール袋が収納され、箱体の構成壁には箱体内部のビニール袋を最上のものから 1 枚ずつ取り出せるようにする取出し口が開口形成されているビニール袋収納箱において、

ビニール袋は、一辺を上部の開口部として形成するように重なり合う一方及び他方のシート体により構成され、一方のシート体の開口部を形成する上部には、該ビニール袋が取出し口から引っ張り出されるときに摘まれるように、他方のシート体と重なり合わずに露出する摘み代が設けられ、

積層状態のビニール袋は、支持板上に載置され、折り畳んだビニール袋の折り線と平行に支持板とともにゴムバンドが嵌め込まれた状態で箱体の内部に収納され、

20

取出し口から引っ張り出されるビニール袋と接して摺動抵抗を付与する抵抗体が設けられ、

上記抵抗体は、上記ゴムバンドのビニール袋架け渡し部分自体及び／又は上記ゴムバンドのビニール袋架け渡し部分に設けた抵抗素材により構成され、

上記ビニール袋は、一方のシート体を外側にして上折片、中間部及び下折片からなる Z 字状に 3 つ折りに折り畳まれて上折片と下折片とにそれぞれ上下のビニール袋を係合して積層され、取出し口から最上のビニール袋が引っ張り出されるときにその下のビニール袋は 3 つ折りの上折片がゴムバンドから脱出されて中間部において表向きにある他方のシート体が抵抗体と接触する状態となるように構成されているビニール袋収納箱。

【請求項 12】

30

請求項 11 に記載のビニール袋収納箱において、

上記取出し口は、最上のビニール袋が取り出されてその下のビニール袋の上折片がゴムバンドから脱出して展開されると、この展開された上折片が箱体の外部に露出される位置であって箱体における上面部の側端部、側面部の上部又は上面部と側面部の連続する角部に形成されているビニール袋収納箱。

【請求項 13】

箱体の上面部の取出し口から 1 枚ずつ取り出されるように、開口部側を上にして折り畳まれて積層した状態にして箱体の内部に収納される四角形のビニール袋であって、

一辺を上部の開口部として形成するように重なり合う一方及び他方のシート体により構成され、一方のシート体の開口部を形成する上部には、該ビニール袋が箱体の取出し口から引っ張り出されるときに摘まれるように、他方のシート体と重なり合わずに露出する摘み代が設けられているビニール袋収納箱用のビニール袋。

40

【請求項 14】

請求項 13 に記載のビニール袋収納箱用のビニール袋において、

摘み代は、一方のシート体の上縁部を延出するか、又は他方のシート体の上縁部を切り欠くかして設けられているビニール袋収納箱用のビニール袋。

【請求項 15】

請求項 13 又は 14 に記載のビニール袋収納箱用のビニール袋において、

摘み代には、該ビニール袋を箱体の取出し口から引っ張り出すときに指が引っ掛けられるように、一方のシート体を貫通する指掛け孔が設けられているビニール袋収納箱用のビ

50

ニール袋。

【請求項 16】

請求項 15 に記載のビニール袋収納箱用のビニール袋において、
摘み代には、指掛け孔の目印としての印刷が施されているビニール袋収納箱用のビニール袋。

【請求項 17】

請求項 13 ～ 16 のいずれか 1 項に記載のビニール袋収納箱用のビニール袋において、
上記ビニール袋は、一方のシート体を外側にして上折片、中間部及び下折片からなる Z 字状に 3 つ折りに折り畳まれて上折片と下折片とにそれぞれ上下のビニール袋を係合して積層され、取出し口から最上のビニール袋が引っ張り出されるときにその下のビニール袋は 3 つ折りの上折片が展開されて取出し口から箱体の外部に露出される構成とするビニール袋収納箱用のビニール袋。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ビニール袋を 1 枚ずつ取り出せるようにするビニール袋収納箱及びビニール袋収納箱用のビニール袋に関する。

【背景技術】

20

【0002】

従来、この種のビニール袋収納箱は、開口部側を上にして交互に折り畳まれて積層された四角形のビニール袋の束を箱体内部に収納し、箱体の上面部に開口形成された取出し口から箱体内部のビニール袋を 1 枚ずつ取り出せるようにしたものがある。また、箱体内部に収納されるビニール袋は、一辺を上部の開口部として形成するように重なり合う一方及び他方のシート体により構成されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2003-212279 号公報

30

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

従来のビニール袋収納箱では、取出し口から取出したビニール袋は、開口部が一方及び他方のシート体の上縁部が一致して塞がった状態となっている。従って、使用者は、箱から取出したビニール袋に物品を入れるためには、開口部を開口させる必要がある。このビニール袋の開口部は、一方のシート体と他方のシート体とがひつついて塞がった状態にあり、しかもビニール袋は、紙袋のような保形性を有しない。そのため、ビニール袋の開口部を簡単に開口させることができず、非常に煩わしく手間がかかっていた。

本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、箱体の取出し口から取り出す度にビニール袋の開口部を開口させるという煩わしい手間を省くことができるビニール袋収納箱及びビニール袋を提供することを目的とする。

40

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明は、

箱体の内部には、開口部側を上にして交互に折り畳まれて積層された四角形のビニール袋が収納され、箱体の上面部には、きりとり線に沿って切り取り部を剥がし取ることにより箱体内部のビニール袋を 1 枚ずつ取り出せるようにする取出し口が開口形成されるビニール袋収納箱において、

ビニール袋は、一辺を上部の開口部として形成するように重なり合う一方及び他方のシ

50

ート体により構成され、一方のシート体の開口部を形成する上部には、該ビニール袋が取出し口から引っ張り出されるときに摘ままれるように、他方のシート体と重なり合わずに露出する摘み代が設けられ、

箱体上面部の内面側には、取出し口から引っ張り出されるビニール袋と接して摺動抵抗を付与する抵抗体が設けられているものである。

【発明の効果】

【0006】

本発明によれば、取出し口から一番上のビニール袋をその摘み代を摘まんで引っ張り出すと、このビニール袋は、抵抗体と接触して抵抗を受け、ビニール袋を構成する一方のシート体と他方のシート体とが横ずれして重なりが引き離される。従って、取出し口から取出されたビニール袋は、上部の開口部が開口された状態となる。よって、取出し口から取出す度にビニール袋の開口部を開口させるという煩わしい手間が省け、取出し口から取出したビニール袋に対して直ちに物品を袋内に入れることができる。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】実施形態1のビニール袋収納箱の外観を示す斜視図である。

【図2】実施形態1のビニール袋収納箱の上面を示す平面図である。

【図3】ビニール袋収納箱用のビニール袋を示す平面図である。

【図4】実施形態1のビニール袋収納箱の内部を示す断面図である。

【図5】実施形態1のビニール袋収納箱の内部を示す模式図である。

【図6】実施形態2のビニール袋収納箱の上面を示す平面図である。

【図7】実施形態2のビニール袋収納箱の内部を示す模式図である。

【図8】フラップ部の他の例を示す平面図である。

【図9】実施形態3のビニール袋収納箱の内部を示す模式図である。

【図10】実施形態3のビニール袋収納箱においてビニール袋の束にゴムバンドを取り付けた状態を示す平面図である。

【図11】実施形態3のビニール袋収納箱においてビニール袋の束にゴムバンドを取り付けた状態を示す断面図である。

【図12】ビニール袋の摘み代に指掛け孔を設けた例を示す平面図である。

【図13】ビニール袋の摘み代に指掛け孔を設けた他の例を示す部分斜視図である。

【図14】ビニール袋の摘み代に指掛け孔の目印（例えば、色印刷）を施した例を示す部分平面図である。

【図15】実施形態4のビニール袋収納箱（取出し口が閉鎖状態）の外観を示す斜視図である。

【図16】実施形態4のビニール袋収納箱（取出し口が開口状態）の外観を示す斜視図である。

【図17】実施形態4のビニール袋収納箱の内部を示す断面図である。

【図18】実施形態4のビニール袋収納箱においてビニール袋の束にゴムバンドを取り付けた状態を示す平面図である。

【図19】実施形態4においてビニール袋の積層手順を示す模式図である。

【発明を実施するための形態】

【0008】

（実施形態1）

図1、図2に示すように、実施形態1のビニール袋収納箱1Aは、横長の直方体形をなした紙製の箱体2から形成され、箱体2内部に収納したビニール袋3の束から上面部21の取出し口5よりビニール袋3を1枚ずつ取り出せるようにしたものである。箱体2の上面部21の取出し口5は、横長の楕円形状を有し、ミシン目等のきりとり線51に沿って切り取り部52を剥がし取ることにより開口形成される（図2参照）。なお、取出し口5の形状は、楕円形に限らず、長方形、太鼓型、菱形、多角形、円形など各種の形状とすることができる。箱体2は、展開状態の1枚の厚紙より組み立て形成することができ、使

10

20

30

40

50

用後は例えば短辺側の両側面を破断させて外方へ引き倒し、箱体 2 を上下方向に押し潰して扁平状にして廃棄し易くすることができる。なお、箱体 2 の材質は、紙製に限らず、プラスチック製、木製、金属製などでもよい。

【0009】

図 3 に示すように、ビニール袋 3 は、PE、PP、PET などの樹脂フィルム製であって四角形に形成され、一辺を上部の開口部 31 として形成するように重なり合う一方及び他方のシート体 32、33 により構成されている。このビニール袋 3 は、上部の開口部 31 において、一方のシート体 32 の上部には、他方のシート体 33 と重なり合わずに露出する摘み代 34 が設けられ、この摘み代 34 がビニール袋 3 を取出し口 5 から引っ張り出すときに摘まれるようになってい

10

【0010】

る。なお、摘み代 34 は、一方のシート体 32 の上縁部を延出 35 (図 3 (a) (b)) するか、又は他方のシート体 33 の上縁部を切り欠く 36 (図 3 (c)) 等して形成することができる。

図 4、図 5 に示すように、ビニール袋 3 は、開口部 31 側を上にして交互に折り畳まれて積層された状態のビニール袋 3 の束にして、箱体 2 の内部に収納されている。これにより、箱体 2 の取出し口 5 から最上層のビニール袋 3 を引っ張り出すとその下のビニール袋 3 の上部が取出し口 5 から外方へ突出され、1 枚ずつビニール袋 3 を取り出すことができる。なお、図 5 では、ビニール袋 3 の一方のシート体 32 と他方のシート体 33 との位置関係を分かりやすくするため両者 32、33 を離して記載するが、実際は一方のシート体 32 と他方のシート体 33 とはひつついた状態となっている (図 7、図 9 も同様の趣旨で記載している。)

20

【0011】

そして、実施形態 1 では、箱体 2 上面部 21 の内面 22 には、取出し口 5 から引っ張り出されるビニール袋 3 と接して摺動抵抗を付与する抵抗体 4 が設けられている。具体的に、抵抗体 4 は、横長の取出し口 5 における両長辺 53 の長さ方向の両端部にあつて、取出し口 5 の両長辺 53 の近傍に配設されている (図 2 参照)。取出し口 5 の両長辺 53 の中央部付近には、抵抗体 4 が設けられていないが、この中央部付近にも抵抗体 4 を設けるようにしてもよい。抵抗体 4 としては、例えば、スポンジ、摩擦抵抗が大きいゴムや樹脂などにより形成することができる。

【0012】

これにより、取出し口 5 から突出した一番上のビニール袋 3 をその摘み代 34 を摘まんで引っ張り出すと、このビニール袋 3 は、抵抗体 4 と接触して抵抗を受け (図 5 参照)、ビニール袋 3 を構成する一方のシート体 32 と他方のシート体 33 とが横ずれして重なりが引き離される。従って、取出し口 5 から取出されたビニール袋 3 は、上部の開口部 31 が開口された状態となる (図 1 参照)。その結果、取出し口 5 から取出す度にビニール袋 3 の開口部 31 を開口させるという煩わしい手間が省け、取出し口 5 から取出したビニール袋 3 に対して直ちに物品を袋内に入れることができる。

30

【0013】

また、箱体 2 内部に収納されたビニール袋 3 は、取出し口 5 から引っ張り出されるときに摘み代 34 を設けていない他方のシート体 33 を外側にして折り畳まれて積層されている (図 5 参照)。これにより、取出し口 5 からビニール袋 3 を取り出すときに一方のシート体 32 の摘み代 34 を摘まんで引っ張り出すと、外側に折り畳まれている他方のシート体 33 が抵抗体 4 と接触して抵抗を受けることとなる。従って、ビニール袋 3 を引っ張り出すときには一方のシート体 32 と他方のシート体 33 とが確実に横ずれして重なりが引き離され、取出し口 5 から取出したビニール袋 3 は、上部の開口部 31 が確実に開口された状態にすることができる。

40

【0014】

このように、これまでは取出し口 5 から取り出したビニール袋 3 は、一方のシート体 32 と他方のシート体 33 とがひつついて塞がった状態の開口部 31 を開口させるのが煩わしかったが、実施形態 1 A によれば、取出し口 5 からビニール袋 3 を引っ張り出すだけで

50

簡単に開口させることができる。また、抵抗体 4 を取出し口 5 の両長辺 5 3 の中央部付近に設けないようにすることにより、取出し口 5 からビニール袋 3 を引っ張り出すとき、通常はビニール袋 3 の上端の真ん中あたりを指で摘み上げるので、指で摘んだビニール袋 3 の真ん中あたりでは抵抗体 4 から受ける抵抗が少なく、ビニール袋 3 を強く摘まなくても円滑にビニール袋 3 を引っ張り出すことができる。

【0015】

(実施形態 2)

図 6、図 7 に示すように、実施形態 2 のビニール袋収納箱 1 B では、横長の取出し口 5 の両長辺 5 3 から対向長辺 5 3 に向けて突出して交互に隣接させて引っ張り出されるビニール袋 3 を挟み込むようにするフラップ部 6 が設けられ、これらのフラップ部 6 の先端部側の裏面 6 1 には、取出し口 5 から引っ張り出されるビニール袋 3 と接して摺動抵抗を付与する抵抗体 4 が設けられている。

10

【0016】

実施形態 2 のビニール袋収納箱 1 によれば、ビニール袋 3 は、フラップ部 6 により挟み込まれた状態で取出し口 5 から引っ張り出される (図 7 参照)。このとき、ビニール袋 3 の表裏面 6 1 にて前後のフラップ部 6 の裏面 6 1 に設ける抵抗体 4 が接触して抵抗を受け、ビニール袋 3 を構成する一方のシート体 3 2 と他方のシート体 3 3 とが横ずれして重なりが引き離され、取出し口 5 から取出されたビニール袋 3 は、上部の開口部 3 1 が開口した状態とすることができる。従って、取出し口 5 から取出す度にビニール袋 3 の開口部 3 1 を開口させるという煩わしい手間から解放される。

20

【0017】

この実施形態 2 では、前後のフラップ部 6 の裏面 6 1 の抵抗体 4 が引っ張り出されるビニール袋 3 の表裏面ともに接触されるから、箱体 2 内部に収納されるビニール袋 3 は、摘み代 3 4 を設けない他方のシート体 3 3 を外側にして折り畳まれて積層されてなくても、一方のシート体 3 2 の摘み代 3 4 を摘んで引っ張り出すと、他方のシート体 3 3 には常に抵抗体 4 が接触することとなる。従って、箱体 2 内部に収納されるビニール袋 3 は、一方又は他方のシート体 3 2, 3 3 のどちらを外側にして折り畳まれたものであってもよい。なお、図 7 では、摘み代 3 4 を有する一方のシート体 3 2 を外側にして折り畳まれた状態を示している。

【0018】

フラップ部 6 は、横長の取出し口 5 における両長辺 5 3 の長さ方向の両端部側に配設されているが、中央部に配設されるようにしてもよい。フラップ部 6 の長さは、取出し口 5 の対向長辺 5 3 の位置まで延ばされているが (図 6 参照)、図 8 に示すように、取出し口 5 の対向長辺 5 3 の手前まで延びるか (図 8 (a))、又は取出し口 5 の対向長辺 5 3 を越えて延びる (図 8 (b)) ように形成されてもよい。また、フラップ部 6 は、箱体 2 の上面部 2 1 の構成部材と一体形成されており、使用前に箱体 2 の上面部 2 1 の切り取り部 5 2 をきりとり線 5 1 に沿って剥がし取ることにより取出し口 5 と同時に形成されるが、これに限定されない。例えば、図 8 (c) に示すように、フラップ部 6 は、箱体 2 上面部 2 1 の構成部材とは別部材にて構成され、突出部 6 2 と基端部 6 3 とを有し、基端部 6 3 を箱体 2 上面部 2 1 の内面 2 2 に取り付け、突出部 6 2 を取出し口 5 内に配置させるようにしてもよい。この場合、箱体 2 の上面部 2 1 の切り取り部 5 2 にはフラップ部 6 形成用のきりとり線 5 1 を設ける必要もなく、また、切り取り部 5 2 も簡単に剥がし取ることができる。

30

40

なお、上述以外の実施形態 2 の構成及び作用効果は実施形態 1 と同様である。

【0019】

(実施形態 3)

図 9、図 10、図 11 に示すように、実施形態 3 のビニール袋収納箱 1 C では、積層状態のビニール袋 3 の束は、支持板 8 上に載置され、折り畳んだビニール袋 3 の折り線 3 7 方向と平行に積層状態のビニール袋 3 の両側位置にて支持板 8 とともにゴムバンド 7 が嵌め込まれた状態で箱体 2 の内部に収納されている。そして、両ゴムバンド 7 のビニール袋

50

3 架け渡し部分の中間位置には、取出し口 5 から引っ張り出されるビニール袋 3 と接して摺動抵抗を付与する抵抗体 4 となる抵抗素材 4 1 が設けられている。

【0020】

この実施形態 3 のビニール袋収納箱 1 C によっても、取出し口 5 から突出した一番上のビニール袋 3 をその摘み代 3 4 を摘んで引っ張り出すと、図 9 に示すように、このビニール袋 3 の他方のシート体 3 3 が抵抗素材 4 1 と接触して抵抗を受け、ビニール袋 3 を構成する一方のシート体 3 2 と他方のシート体 3 3 とが横ずれして重なりが引き離され、取出し口 5 から取出されたビニール袋 3 は、上部の開口部 3 1 が開口された状態とすることができる。また、積層状態のビニール袋 3 は、支持板 8 とともに巻回したゴムバンド 7 に抵抗素材 4 1 を設けるので、ビニール袋 3 の残り枚数が少なくなった場合でも、また最後の 1 枚となった場合でも、ビニール袋 3 を引っ張り出すときには抵抗素材 4 1 を確実に接触させ、取出したビニール袋 3 の開口部 3 1 を開口させることができる。

10

【0021】

なお、ゴムバンド 7 自体が、天然ゴム素材又は合成ゴム素材等のような表面の摩擦抵抗の大きい素材で形成され、平ゴムの形態としてその幅寸法を適宜に設定等する場合、このゴムバンド 7 において一番上のビニール袋 3 と接するビニール袋架け渡し部分により抵抗体 4 を構成することができる。また、このような摩擦抵抗の大きいゴム素材のゴムバンド 7 を用いる場合、抵抗素材 4 1 を設けることなくゴムバンド 7 のビニール袋架け渡し部分だけで抵抗体 4 を構成することもできる。

上述以外の実施形態 3 の構成及び作用効果は実施形態 1 と同様である。

20

【0022】

(ビニール袋について)

ビニール袋 3 は、図 3 に示したように、開口部 3 1 において一方のシート体 3 2 の上部には他方のシート体 3 3 と重なり合わずに露出する摘み代 3 4 を設けているが、図 1 2 に示すビニール袋 3 A のように、摘み代 3 4 には一方のシート体 3 2 を貫通する指掛け孔 3 8 を設けることが好ましい。この場合、ビニール袋 3 A は、通常、指掛け孔 3 8 に指を引っ掛けて箱体 2 の取出し口 5 から引っ張り出される。指掛け孔 3 8 は、摘み代 3 4 を形成する一方のシート体 3 2 側に配設されているので、指掛け孔 3 8 に指を引っ掛けてビニール袋 3 A を取出し口 5 から引っ張り出すことにより、無意識に両方のシート体 3 2, 3 3 を一緒に摘んで引っ張ってしまうことはなく、一方のシート体 3 2 側だけが引っ張られ、他方のシート体 3 3 側が引っ張られることはない。従って、ビニール袋 3 A を取り出すときには他方のシート体 3 3 が抵抗体 4 によって抵抗を受けると一方のシート体 3 2 と他方のシート体 3 3 とが確実に横ずれして重なりが引き離され、取出し口 5 から取り出したビニール袋 3 A は、上部の開口部 3 1 が確実に開口された状態にすることができる。

30

なお、指掛け孔 3 8 の形状は、円形、楕円形、四角形等（図 1 2 (a) (b) (c) (d)）、その他各種の形状とすることができ、また、指掛け孔 3 8 の数も、1 個のみならず、2 個（図 1 2 (d)）以上の複数個を形成することもできる。

【0023】

上述のようなビニール袋 3 A における指掛け孔 3 8 の形成は、ビニール袋 3 A 完成前の素材シート又はビニール袋 3 A の完成品に対して切り抜きや打抜き等の加工を施して形成することができる。指掛け孔 3 8 の形成範囲は、その全体又は一部分が摘み代 3 4 を貫通させるような一方のシート体 3 2 の領域であればよい。すなわち、指掛け孔 3 8 は、一方のシート体 3 2 における摘み代 3 4 の形成部分にだけ設けられる形態（図 1 2）のみならず、図 1 3 (a) (b) に示すように、他方のシート体 3 3 の上縁部を部分的に切り欠く（切欠 3 9）とともに一方のシート体 3 2 における摘み代 3 4 形成部分からその下の部分にわたって連続的に設けられる形態（図 1 3 (a)）、また、他方のシート体 3 3 の上縁部を全く切り欠くことなく一方のシート体 3 2 における摘み代 3 4 形成部分からその下の部分にわたって連続的に設けられる形態（図 1 3 (b)）とすることができる。

40

【0024】

この場合、指掛け孔 3 8 は、全体が摘み代 3 4 に設けられる形態（図 1 2）や他方のシ

50

ート体 3 3 を切り欠かずに摘み代 3 4 形成部分からその下の部分にわたって連続的に設けられる形態（図 1 3（b））であれば、開口部 3 1 における他方のシート体 3 3 の上縁部も真っ直ぐな形状を確保できるから、ビニール袋 3 A の使用状態においては見栄えが良く、開口部 3 1 の強度も確保でき、また切欠 3 9 から他方のシート体 3 3 が破れる等の不具合も生じない。

指掛け孔 3 8 を摘み代 3 4 形成部分からその下の部分にわたって連続的に設ける場合（図 1 3）は、同じ大きさの指掛け孔 3 8 を摘み代 3 4 のみに設ける場合（図 1 2）と比べ、摘み代 3 4 の上下幅を狭くしてビニール袋 3 A の容積の減少を抑えることができる。

【0025】

また、摘み代 3 4 には、指掛け孔 3 8 の目印 M として指掛け孔 3 8 の周辺に印刷を施すことができる。図 1 4 に示すように、この指掛け孔 3 8 の目印 M としては、例えば、指掛け孔 3 8 の全体を摘み代 3 4 に設けたものでは、摘み代 3 4 の内面側又は／及び外面側において、指掛け孔 3 8 の外周に沿って色印刷を施したり（図 1 4（a）（b））、指掛け孔 3 8 の外周領域に広く色印刷を施したり（図 1 4（c））、あるいは、摘み代 3 4 全体に色印刷を施したり（図 1 4（d））等することができる。また、例えば、指掛け孔 3 8 を他方のシート体 3 3 の上縁部を切り欠くようにして摘み代 3 4 に設けたものでは、摘み代 3 4 の内面側又は／及び外面側において、指掛け孔 3 8 の左右に太点状に色印刷を施したり（図 1 4（e））、指掛け孔 3 8 の左右に太線状に延びる色印刷を施したり（図 1 4（f））等することができる。

【0026】

このような指掛け孔 3 8 の目印 M を設けることにより、使用者に対して孔（指掛け孔 3 8）が開いていること、指掛け孔 3 8 が存在すること等を色で知らせて分かりやすくすることができる。従って、ビニール袋 3 A を箱体 2 の取出し口 5 から引き出す際は、指掛け孔 3 8 に指を引っ掛けるように促され、確実に指掛け孔 3 8 を設けた一方のシート体 3 2 側だけを引っ張って取出し口 5 からビニール袋 3 A を取り出させることができる。

なお、指掛け孔 3 8 の目印 M となる色印刷は、図 1 4 に示すものに限らず、色、形状、位置、範囲等その他各種の形態について任意に決定することができる。色印刷（目印 M）は、摘み代 3 4 における一方のシート体 3 2 の内外面の両方に施してもよいし、また、ビニール袋 3 A 自体が透明又は半透明であるから摘み代 3 4 の内面又は外面のどちらかの面にだけ施すようにしてもよい。

【0027】

（実施形態 4）

図 1 5、図 1 6、図 1 7 に示すように、実施形態 4 のビニール袋収納箱 1 D では、ビニール袋 3 A が開口部 3 1 側を上にして Z 字状に 3 つ折りにして積層されて箱体 2 の内部に収納され（図 1 7 参照）、箱体 2 の上面部 2 1 と側面部 2 3 の角部 2 4 に形成された取出し口 5 から箱体 2 内部のビニール袋 3 A を最上のものから 1 枚ずつ連続して取り出すようにしたものである。ビニール袋 3 A は、摘み代 3 4 において指掛け孔 3 8 と印刷による指掛け孔 3 8 の目印 M とが形成されたものが使用されているが、指掛け孔 3 8、目印 M 等を形成しないものでもよい。また、取出し口 5 は、角部 2 4 に限らず、上面部 2 1 の側端部又は側面部 2 3 の上部に形成されてもよい。

【0028】

図 1 7、図 1 8 を参照して、箱体 2 内部に収納された積層状態のビニール袋 3 A の束は、支持板 8 上に載置され、折り畳んだビニール袋 3 A の折り線 3 7 と平行に支持板 8 とともに 1 本のゴムバンド 7 が嵌め込まれた状態とされている。積層状態のビニール袋 3 A は、一方のシート体 3 2 を外側にして略三等分に上折片 3 U、中間部 3 M 及び下折片 3 D からなる Z 字状に 3 つ折りにされ、この上折片 3 U と下折片 3 D とにそれぞれ上下のビニール袋 3 A を係合して積層されている（図 1 9 参照）。

【0029】

この積層状態とする手順として、例えば、図 1 9 に示すように、1 番目のビニール袋 3 a は一方のシート体 3 2 を上向きにして上三分の二（3 U 及び 3 M）を上側に折り返し、

その上に、2番目のビニール袋3bを一方のシート体32を上向きにして下三分の一(3D)を重ねる(図19(a))。そして、1番目のビニール袋3aの上三分の一(3U)を上側に折り返して2番目のビニール袋3bを挟み込む(図19(b))。次に、2番目のビニール袋3bの上三分の二(3U及び3M)を上側に折り返し(図19(c))、その上に、3番目のビニール袋3cを一方のシート体32を上向きにして下三分の一(3D)を重ねる(図19(d))。そして、2番目のビニール袋3bの上三分の一(3U)を上側に折り返して3番目のビニール袋3cを挟み込む(図19(e))。以上の操作を繰り返し行くと、ビニール袋3AをZ字状に3つ折りにして積層状態とすることができる。

【0030】

このようにして、ビニール袋3AをZ字状に3つ折りに折り畳むことにより、2つ折りの場合のようにビニール袋3の開口部31を交互に向きを変えて折り込むことなく、ビニール袋3Aの開口部31を同じ側に向けて折り込んで積層状態とすることができる。これにより、各ビニール袋3Aを上下に係合させて積層状態とするのに機械化し易くすることができる。

【0031】

積層状態のビニール袋3Aでは、略三等分に上折片3U、中間部3M及び下折片3DからなるZ字状に3つ折りにされ、その上折片3Uと中間部3Mとの間に直上のビニール袋3Aの下折片3Dが折り込まれ、また、下折片3Dと中間部3Mとの間に直下のビニール袋3Aの上折片3Uが折り込まれた状態となっている(図19(e)参照)。そして、取出し口5から最上のビニール袋3Aが引っ張り出されるときにその下のビニール袋3Aは、3つ折りの上折片3Uがゴムバンド7から脱出して展開されて取出し口5から箱体2外部に突出され、また、3つ折りの中間部3Mにおいては表向きにある他方のシート体33がゴムバンド7と接触する状態となるように構成される。

【0032】

ゴムバンド7は、平ゴムであって天然ゴム素材又は合成ゴム素材等のような表面の摩擦抵抗の大きい素材で形成され、このゴムバンド7において一番上のビニール袋3Aと接するビニール袋掛け渡し部分自体が取出し口5から引っ張り出されるビニール袋3Aに摺動抵抗を付与する抵抗体4を構成する。なお、実施形態3のようにゴムバンド7に抵抗素材41を設けて、この抵抗素材41により抵抗体4を構成してもよい。

【0033】

これにより、取出し口5から突出した一番上のビニール袋3Aをその摘み代34を摘まんで引っ張り出すと、図17に示すように、このビニール袋3Aの他方のシート体33がゴムバンド7から抵抗を受け、ビニール袋3Aを構成する一方のシート体32と他方のシート体33とが横ずれして重なりが引き離され、取出し口5から取出されたビニール袋3Aは、上部の開口部31が開口された状態とすることができる(図15参照)。

【0034】

また、実施形態4では、ビニール袋3AをZ字状に3つ折りにして積層させ、また箱体2の取出し口5を上面部21の端(角部24)に形成することにより、取出し口5からビニール袋3Aを比較的長く突出させてビニール袋3Aを引っ張り出し易くすることができる。

【0035】

また、ビニール袋3Aを2つ折りにして交互に折り畳む場合は、2つ折りの間に上下のビニール袋3の折片を一緒に折り込むので、勢いよくビニール袋3が引き出されるとその下の2枚のビニール袋3が取出し口5から突出されるおそれがあったが、3つ折りにすることで上下のビニール袋3Aの折片(3U, 3D)を3つ折りの上折片3U側と下折片3D側とにそれぞれ分けて折り込むことができる。これにより、勢いよくビニール袋3Aが引き出されても、その下の2枚のビニール袋3Aが取出し口5から突出されることを防止することができる。

【0036】

また、図18に示すように、支持板8には、ゴムバンド7を架け渡す対向する2辺に係

10

20

30

40

50

止部 8 1 が複数個所に設けられ、ゴムバンド 7 の係止位置を取出し口 5 に近い側か遠い側に段階的に配置させることでビニール袋 3 A に付与する抵抗を調節できるようにしている。例えば、開口部 3 1 が開口し難い素材や厚み等のビニール袋 3 A の場合は、ゴムバンド 7 を取出し口 5 に近い側に配置すれば、引っ張り出されるビニール袋 3 A が取出し口 5 から完全に脱出するまでの長い時間でビニール袋 3 A に摩擦抵抗を付与することができ、取出し口 5 から取出したビニール袋 3 A の開口部 3 1 を確実に開口状態とすることができる。一方、開口部 3 1 が比較的開口し易い素材や厚み等のビニール袋 3 A の場合は、ゴムバンド 7 を取出し口 5 に遠い側に配置すれば、引っ張り出されるビニール袋 3 A に摩擦抵抗が付与される時間を短くすることができ、ビニール袋 3 A の引っ張り出しを軽くすることができる。

10

上述以外の実施形態 4 の構成及び作用効果は実施形態 1 ～ 3 が参照される。

【0037】

なお、本発明は、上記各実施形態に限定されず、本発明の要旨の範囲内で適宜に変更を施すことが可能である。例えば、最後の 1 枚までビニール袋 3 を取出し口 5 から取り出しやすくするように、箱体 2 には、積層状態のビニール袋 3 を底から持ち上げるような機構を設けてもよい。

【符号の説明】

【0038】

1 A, 1 B, 1 C, 1 D ビニール袋収納箱

2 箱体

3, 3 A ビニール袋

3 D 下折片

3 M 中間部

3 U 上折片

4 抵抗体

5 取出し口

6 フラップ部

7 ゴムバンド

8 支持板

2 1 上面部

2 2 内面

2 3 側面部

2 4 角部

3 1 開口部

3 2 一方のシート体

3 3 他方のシート体

3 4 摘み代

3 5 延出

3 6 切り欠き

3 7 折り線

3 8 指掛け孔

3 9 切欠

4 1 抵抗素材

5 1 きりとり線

5 2 切り取り部

5 3 長辺

6 1 裏面

6 2 突出部

6 3 基端部

M 目印

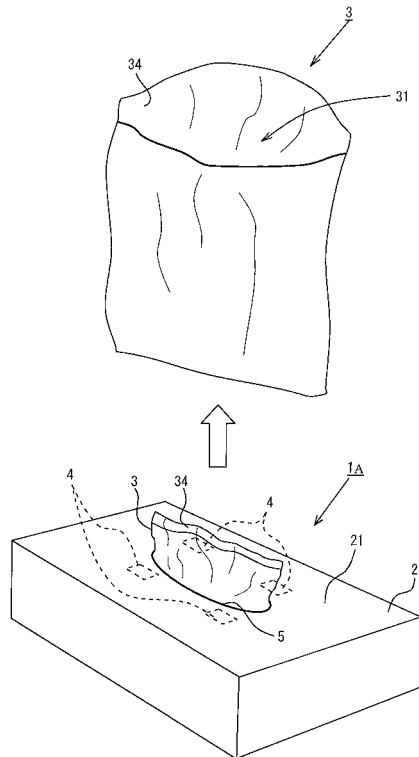
20

30

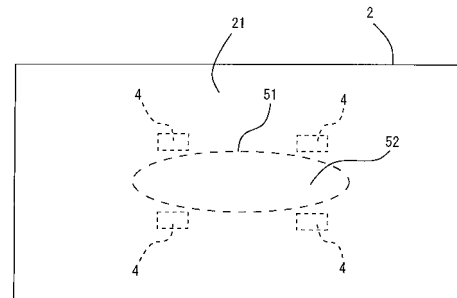
40

50

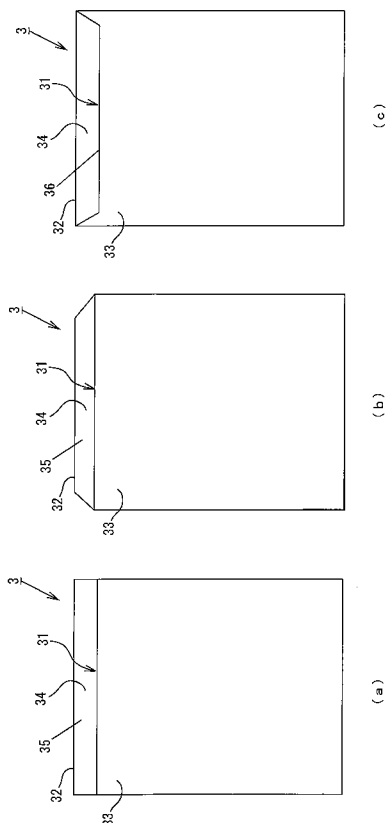
【図 1】



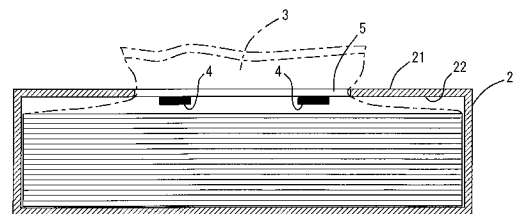
【図 2】



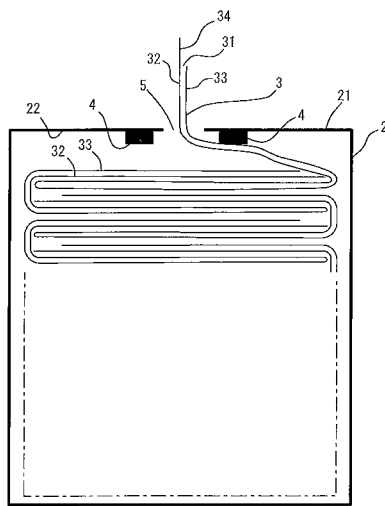
【図 3】



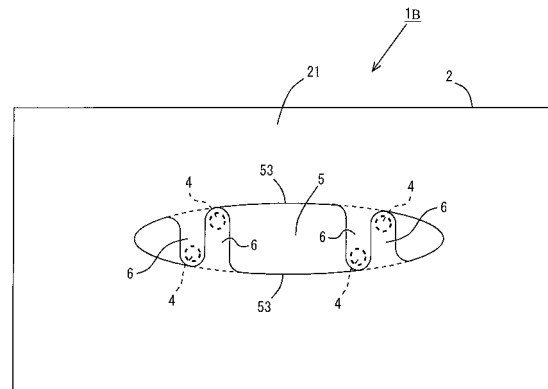
【図 4】



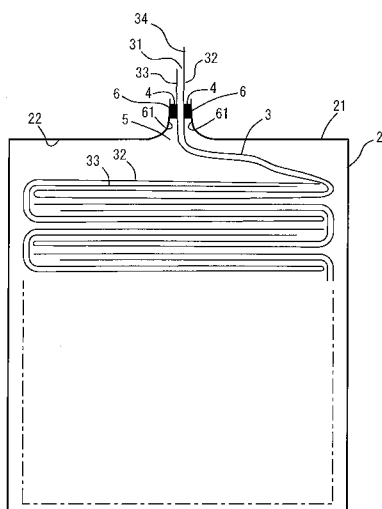
【図 5】



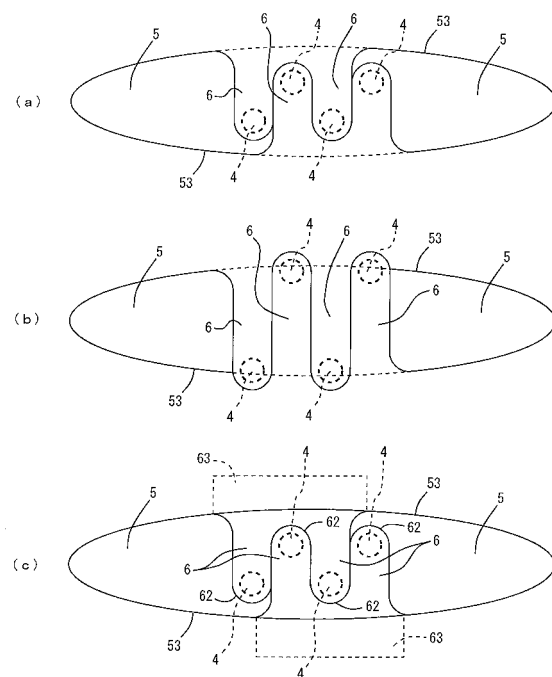
【図 6】



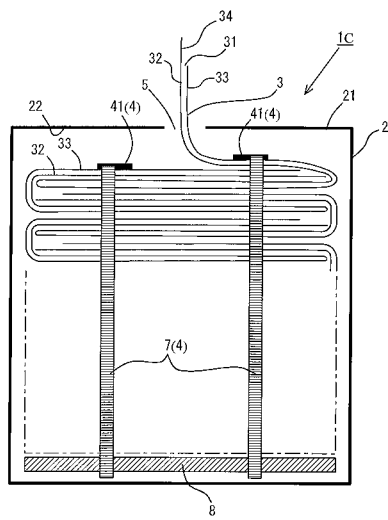
【図 7】



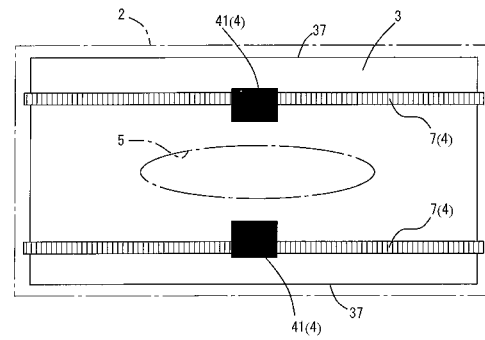
【図 8】



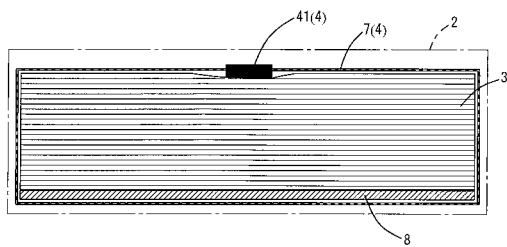
【図 9】



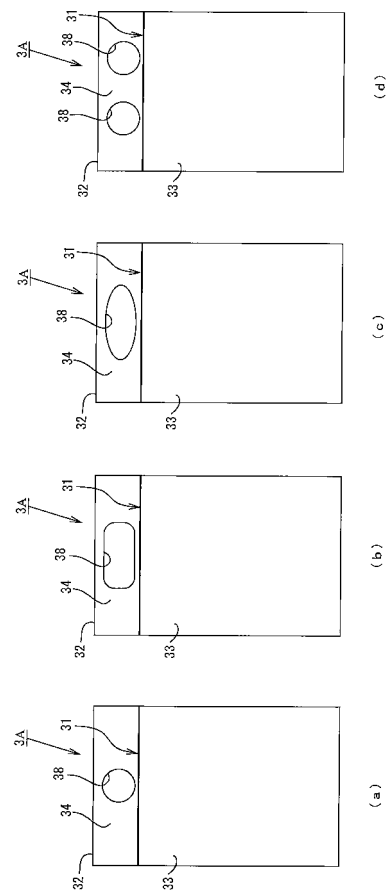
【図 10】



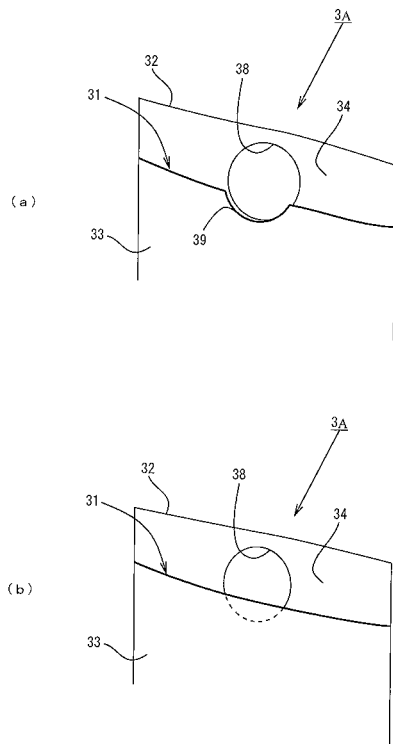
【図 11】



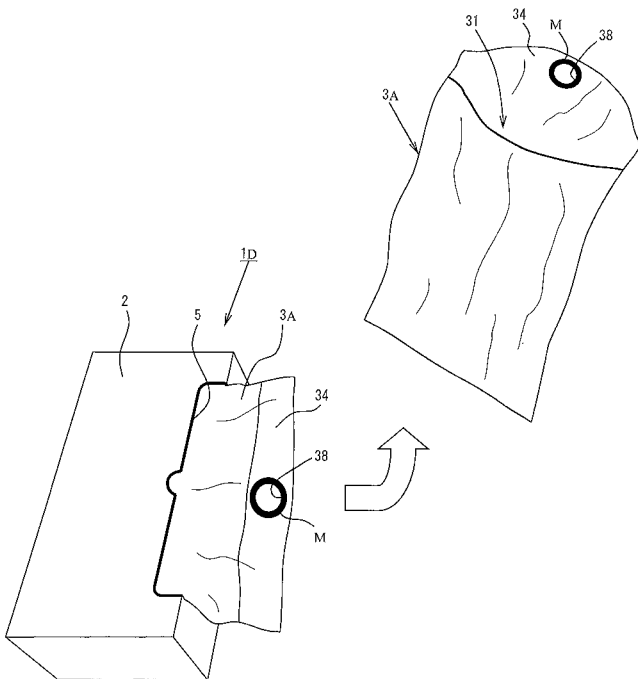
【図 12】



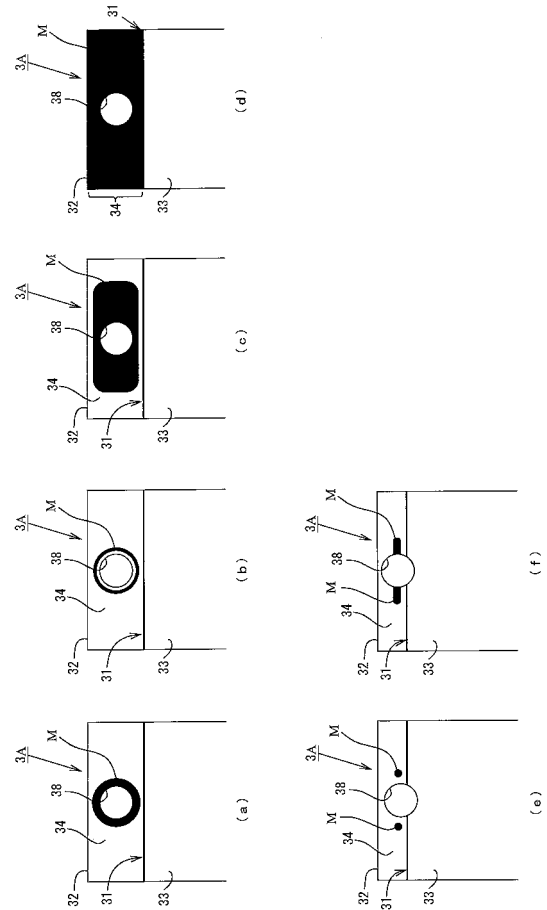
【図 13】



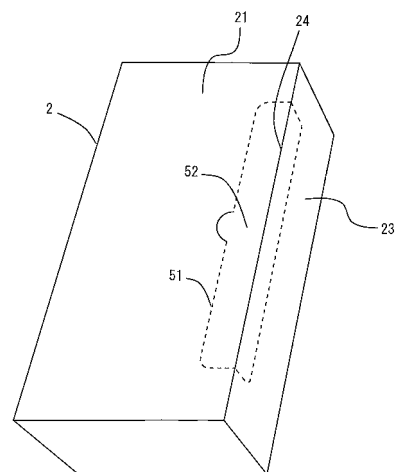
【図 15】



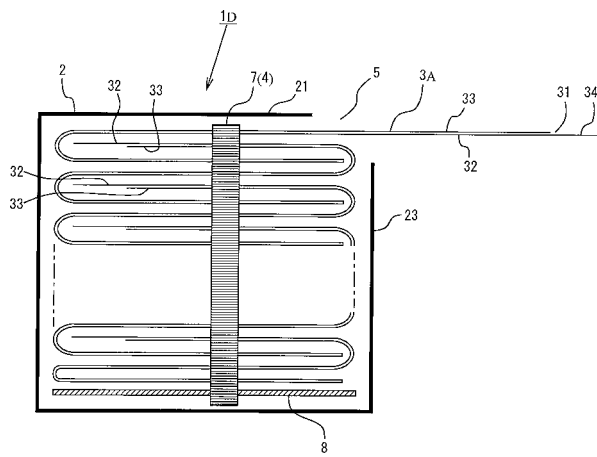
【図 14】



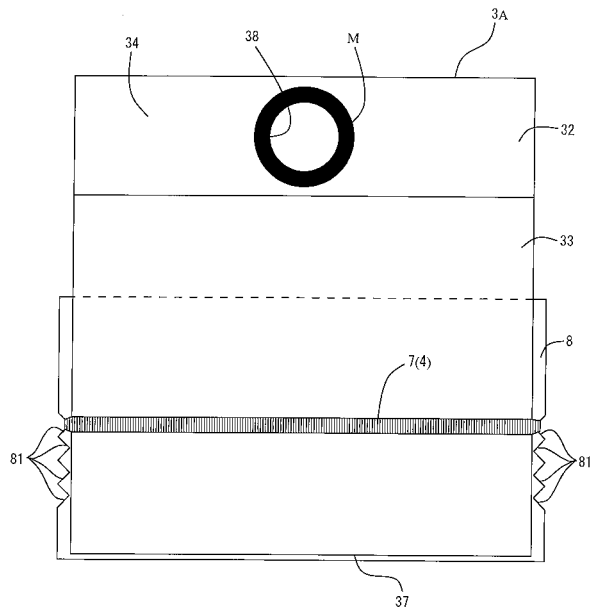
【図 16】



【図 17】



【図 18】



【図 19】

